

## 小型動力ポンプ付積載車購入八代分団第 8 部（竹居）（明許）

### 仕様書

#### 1. 目的

この仕様書は、笛吹市（以下「当市」という）が令和 8 年度に購入する小型動力ポンプ付積載車 八代分団第 8 部（竹居）（以下「車輛」という）のシャシ、艀装、積載機器、その他必要な事項について定める。

受注者は、本仕様書を十分検討の上、契約するものとし、契約の疑義については、全て当市の解釈に従うものとする。

本積載車の製作にあたっては、この仕様書及び製作承認図等（契約後納入者にて製作すること）のほか、製造工場においては、国際標準化機構による品質及び環境マネジメントシステムの規格 ISO9001・ISO14001 の認証を取得していること。道路運送車両法及び道路運送車両の保安基準に適合し、緊急自動車としての承認が得られるように製作されたものであること。

#### 2. 提出書類

- (1) 受注者は、車輛の製作に先立ち契約後速やかに次の書類を各 2 部提出し、承認を受けるとともに、この車の艀装にあたり仕様書の目的が達成されるように当市担当者と協議を行い、細部事項の確認を行なうこと。

なお、本仕様に疑義が生じた時は直ちに当市担当者に連絡し指示を受けるとともに速やかに確認の図書を交わし承認の受け誤りの無きようにすること。

ア 制作工程表

イ 艀装外観図

ウ 装備取付図

エ ISO 登録証の写し

- (2) 車輛納入時に次の書類を各 2 部提出すること。

ア 完成図

イ ポンプ性能試験表

ウ 個別検定合格証の写し

- エ 自動車検査証の写し
- オ 車輛及びポンプ取扱説明書
- カ 納品明細書
- キ 工程写真
- ク 転角証明書及び重量実測証明書（架装会社より発行）
- ケ その他当市の指示するもの

### 3. 検査及び保証等

（1）受注者は、工程表に基づき、次の検査を受けること。なお検査申請は当該検査の 14 日前までに書面により依頼をすること。

#### ①中間検査

外部塗装後に艤装品を取付した状態で、受注者製作工場にて、組立、取り付け装置位置確認を実施する。（艤装メーカー営業担当者及び製造担当者が立会うこと。）

#### ②完成検査

新規登録検査に合格後、笛吹市役所にて当市が本仕様書に基づき各種検査を実施し、全てが良好と認め受注者から車輛を受領して完了する。車輛等の取り扱い要領については、各専門業者による指導を受注者の責任において実施すること。

#### ③その他

当市が必要と認めたとき。

（2）仕様書及び提出艤装図面にて当市が実施する中間検査（塗装後）及び総合的な検査の結果、不具合と認められた箇所については、直ちに修正又は取替えの上、再検査を受けるものとする。なお、修正等に要する費用は受注者負担とする。

（3）保証期間については、本車輛納入日より 1 年間とする。保証期間において施工設計及び仕様部材等に起因した故障、不備が生じた場合は、受注者が直ちに無償修理をすること。また、この期間中サービス点検を 1 回以上（オイル交換を含む）実施すること。ただし、保証期間以後においても、材質の不良、設計、製作、組み立ての不適により故障、破損等の欠陥が生じたときは、すべて受注者が無償で修理し交換するものとする。

（4）保証期間内及び保証期間経過後にかかわらず、緊急に点検修理等が発生した場合にお

いても、誠意をもって速やかに対応をするものとする。

(5) 車輛等の取り扱い要領について、納車以降、当市が指導依頼をしたときは誠意をもってこれを指導すること。

#### 4. 登録等

(1) 新規登録手続きは受注者が行うものとし、経費については全て受注者が負担する。ただし、自動車損害賠償保険料、自動車重量税及びリサイクル費用については、当市が別に負担するので見積価額に含めず、受注者が立替払し、本契約の支払いとは別に請求すること。

(2) 既存の車両は、責任を持って一時抹消登録処理し、担当者の指示のもと証明書を提出すること。

#### 5. 納期

(1) 納 期

令和 10 年 3 月 22 日

(2) 納入場所

新規検査及び新規登録を受け、各部の注油、点検整備を入念に実施し、車輛及び可搬ポンプは燃料を満タンにした上で、全ての資機材を積載し、かつ、運用可能な状態とし、笛吹市役所に納入すること。

#### 6. 仕様

(1) 車輛各部に使用する材料及び部品については、特に指定する物以外は全て日本工業規格に基づいて精選された耐久性に富む材料を使用することとし、車輛の細目に合致するものとする。

また、車輛、装備及び付属品は、全て新規製品のものとする。

なお、本仕様書に明記していない箇所については、メーカー標準仕様とし責任を持って艤装を行うこと。

(2) シャシ

① いすゞ ELF M10 0.75 トン 120 馬力とする。

② 規格は、ダブルキャブ型 4 枚ドア乗車定員 6 名、ディーゼルエンジン、エンジン排気量 1,898cc クラス、4 輪駆動型、リヤシングルのタイヤ、車両総重量 3.5 トン未満(普通免許対応)と

する。

③タイヤは全輪スタッドレスタイヤ（計 5 本スペアタイヤ含む）とする。

④変速装置は、オートマチックトランスミッションとする。

⑤パワーステアリング及びパワーウィンドーを装備すること。

⑥シャシ付属品としてタイヤチェーン、フロアマット（前後）、ドアバイザー、ナンバープレート、AMFM ラジオ、フォグランプ、泥よけ及び車輛工具一式を装備すること。

⑦車輛寸法幅 1,800mm、奥行 5,000mm、高さ 2,300mm に収まるものとする。（※寸法については別途協議とする。）

### （３）小型動力ポンプ

①積載するポンプは「動力消防ポンプの技術上の規格を定める省令」中に定められた、小型動力で、日本消防協会の受託試験に合格したものとする。

②級別 B-2 級ポンプとする。

③真空ポンプはオイルレス真空ポンプを使用すること。

④最近の生活環境に配慮した、水冷式 4 サイクルエンジン、インジェクション方式とし、低騒音、低燃費、低排気であるもの。

⑤自動吸水機能、オートパワーオフ機能を装備するもの。

⑥放口はボールコック式とする。

⑦総重量は 1 0 0 kg 以下とする。

⑧セルモーター、リコイル始動式とする。バッテリーレスでもリコイルにてエンジンが始動できること。

（４）消防資機材収納及びその他艤装（※仕様は下記を基本とするが詳細については別途協議とする。）

①格納箱を設ける。

②キャビン内後部座席前に手摺を設けるとともに、S 管を付けヘルメット等が掛けられるようにする。

③小型動力ポンプ及びその他資機材の積載装置は、走行中振動等により移動又は、破損等が

生じないように安全確実に固定でき、かつ容易に積み下ろしできるようにする。

④小型動力ポンプの脱着が容易にできるように油圧昇降装置を装備する。

⑤積載付属品や格納箱などには、雨水等の浸透、溜水のないようコーキングやゴムパッキン等で処置する。

⑥キャビン後部の両サイドは側板仕上げとし、両側に上下２段の収納ボックスを設け、上段及び下段は貫通とし、資機材が収納できるものとする。収納ボックスの扉は雨水等が浸透しないよう折込加工しゴムパッキン等で仕上げる。また、扉は後方から前方へ左右に開閉するよう設け、全開時にボディに接触しないようストッパーを施すこと。※詳細は別途、当市担当者と協議。

⑦収納ボックス内は、プラスチック製下敷き等を敷詰め錆、振動等に配慮する。また、扉内側に反射テープを施すこと。

⑧荷台内部に、伸縮性はしご、三脚（移動照明灯用）の設置場所を設ける。

⑨荷台後部の屋根の長さは、小型動力ポンプが雨水等から防げる長さとする。

⑩側板に消火栓媒介金具、消火栓開閉金具（３種類）、車輪止め、消火器、管鎗、スタンドパイプ、無反動管そうを取付ける。

⑪側板上部に鳶口２本を取付け、吸管は、じゃ籠が後部にくるように設置し、車体にじゃ籠受け及び金具受けを設ける。又、双口接手、管鎗、ダイレクトバルブ、金てこ、クイックキャッチャー、車輪止めを取付ける。

⑫剣先スコップ、角スコップを荷台内部に設置場所を設ける。

⑬燃料携行缶（２０ℓ）の設置場所を設ける。

⑭収納ボックス内に発電機、投光機の設置場所を設ける。

⑮車輦後部にステップを設ける。

⑯消防団章を車輦前部中央に取付ける。

⑰車輦後部に部旗受けを設置すること。サイズについては、別途協議する。

⑱装備品等は、本体及びボックス内に全て収納できるように工夫する。

⑲車体のステップは、全てアルミ又はステンレスの縞板張りとし、取付け部品が当たる部分にはアルミ等の板で保護処理をする。また、各ステップ及び床は、アルミ縞板にて端部周辺

を外側に折り曲げ加工したものとし、ステップとボディ側板及びフェンダーが交わる部分には、水切りを出来るようにして腐食を防止する構造とする。

⑳その他積載装備品関係の施工については、耐久性、安全性に優れており、かつ取扱いし易い構造とし、その他付属品及び取付け品については内訳を参照し、詳細については、当市担当者と協議するものとする。

#### (5) 警音装置、照明装置、電装関係

- ① 標識灯付散光式警光灯はスピーカー内蔵の一体型とし、キャブ上部前方に取り付け、取付部分は、必要に応じ重量に耐えられるよう補強し、止め金等が突出しない構造とし、浸水及び雨水漏れのないように防水処理を施すものとする。
- ② キャブ室内、ダッシュパネル付近に電子サイレンアンプを取付け、マイクは操作の支障をきたさないよう取り付ける。
- ③ 各部スイッチ類には、名称及び操作方法を明記する。
- ④ 車輻本体のバッテリー上がりを防ぐ為、艀装電源はACC連動とし、車両及び可搬ポンプを常に充電できるよう自動充電器を取付ける。
- ⑤ 車輻前部に赤色点滅灯2個をガード付きで取り付ける。(LED)
- ⑥ 後方から確認できるように、後部側板上部左右に赤色点滅灯をガード付きで取付ける。(LED)
- ⑦ ボックス内に照明灯(LEDタイプ) ドアを開けると点灯するようにドアスイッチを取付ける。
- ⑧ 夜間においてもポンプの操作、消防活動が安全にできるようにLED照明を2台対角線に取り付け、上下伸縮が可能で360°方向が変えられるものとする。
- ⑨ 照明類のスイッチは、照明付近にそれぞれ設ける。
- ⑩ 左右後輪付近に路肩灯を取り付けること。
- ⑪ ポンプ室上部に作業がしやすいようLED照明を付けること。
- ⑫ キャビン後方左右側板上部に夜間作業がしやすいよう照明を付けること。
- ⑬ 電装配線等は表面に露出しないものとし、やむなく露出する場合はプロテクター等で保護し、ショート等しないようにする。

#### (6) 塗装仕様

車体塗装は、完全な防錆加工を施し、朱色(ウレタン塗装、VOC削減)を使用することとし、上塗りを3回以上行い研磨仕上げとすること。その他の塗装については次のとおりとする。

ア 車体外面	朱色
イ 隊員席内部	シャン標準色
ウ ステップ等アルミ縞板使用部	アルミ無地
エ フェンダー内面及び車体下回り	黒色
オ タイヤホイール	無塗装

製作品は材料の素地に直接塗装せず、カチオン電着塗装で防錆性能、耐候性を向上させる事。

カチオン電着塗装を行い、耐塩水噴霧性（5%NaCl 35℃）片側 3 mm以下で 700 時間以上を満たすこと。

#### （６） 文字の記入

- ① 文字引線は、車輛両側に白文字（丸ゴシック）、「笛吹市消防団」「八代分団」とし、２段書きとする。
- ② 標識灯は、黒文字（第８部）で記入。
- ③ 文字の大きさ、その他要領は別途打ち合わせをする。

#### ７．その他

（１）仕様書に基づかない取付品、付属品の追加または変更については、当市担当者と協議し、指示を受けるものとする。

（２）メーカーが公表した仕様及び艤装は、本仕様に関わらず施行するものとする。

（３）乗車人員の安全確保を最重要事項として製作にあたること。

（４）長年使用することを考慮し、防錆、防蝕、変形などには十分配慮して施工すること。

（５）検査及び検収は、仕様書及び艤装承認図面にて当市が実施する総合的な検査の結果、不都合と認められた箇所については直ちに修正、修理、部品の交換を実施し再検査を受けるものとする。また、検査の結果、当市との協議無く仕様書及び艤装承認図面の通りの施工がなされていない場合及び不適当と認められた場合は、検収、又は車両の受領を拒否することもある。

（６）その他疑義が生じた場合は、双方協議の上、決定すること。